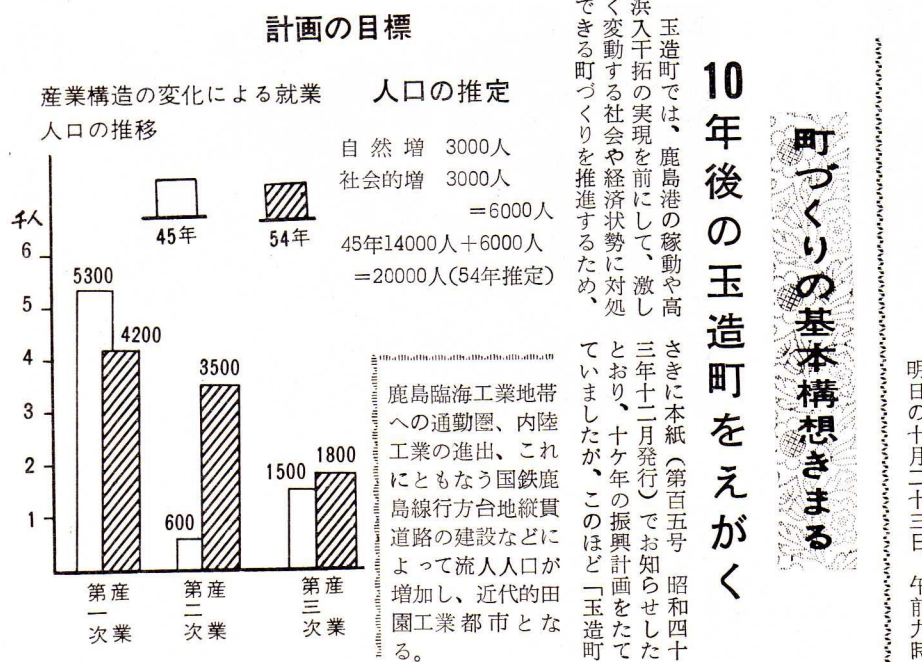




10月23日 皇太子殿下初のご来町

妃殿下とともに

高須の水産試験場を視察

この計画では二十二日から二十五日までの五日間、県内のご視察が行なわれる予定です。

皇太子ご夫妻は十月二十二日、九時十五分に上野駅をたれ、常磐線土浦駅に着き、常磐線土浦駅より、お車でお宮参りになり、お立ち寄りになり、ご休憩があらまが、鹿島神社にご参拝ののち、鹿島開発事務所に向われ、ここで鹿島開発について、その概要の説明を受けられ、鹿島港周辺の開発状況のご視察がおこなわれます。

このあと、麻生町の国民宿舎「白帆荘」にお着きになり、県勢概要について、説明を受けられお泊りになります。

明日の十月二十三日、午前九時

地籍一筆調査はじまる

今月から谷島地区など

昭和三十六年からはじまった地籍調査は、現在までに玉川の全部と手賀、玉造地区の一部の調査、測量が完了しています。

今年度は谷島と手賀の一部の地籍調査をはじめ、前年度に調査した谷島と手賀、若海の一部の地籍調査を行なう計画です。

税金の減免手続きを

災害をうけたときは

台風の季節になり「災害」の場合、どんな救済措置があるか、震災、風水害、落雷、火災などの災害を受けた場合、所得税を軽減、または免除する措置として、所得税法に規定する雑損控除による方法、災害減免法に規定する税金の軽減免除による方法があります。

お役所仕事の不満は

行政相談委員の野原さんに

行政相談委員はみなさんのくらしに密着しているものなのですが、ふだんはとくち忘れがちな、直接みなさんから役所に対する不平を聞いて解決をはかっています。また、これによって、いろいろな役所仕事の不満が、行政相談員にお申し出ください。

家をたてる方は

必ず建築届けを

新築、増築、改築、移転、大規模の修繕、模様替、用途変更などを建築確認申請書を作成して、役場を経由し、土木事務所の建築主事に提出することになっています。

みんなであそぼう

高須の一本松

支柱取り替え工事終る



改修作業の終わった一本松

高須の一本松の支柱が新しくとりかえられ、今まであった古いクイに比べると見かえらるようになり、今までの古く、夫に美しくなりました。

この改修作業は、一本松の樹を支えるクイが古くなり、支柱として用を足すのが無理となったため取り替えたもので、写真でもおわかりと思いますが美しい曲線を描いて地にはう分枝を、がんじょうに支えています。

一本松は、観光や歴史の面にも大切なことなどから、特に観光面からの意見も取り入れて美しく、そしていつまでも丈夫でいるようにと仕上げの配慮がされています。

この改修作業は八月十二日に無事終了、地元の高須地区のみならず、多くの人から喜ばれています。

鹿行 種豚共進会に出陳を

11月8、9日に玉造で

ことしの鹿行地区種豚共進会は十一月八日、九日に玉造町で開かれます。

この会には、鹿島、行方面の養豚家が、日ごろ手おしおにかけて育てあげた種豚が、多数出陳され「おらが豚こそ鹿行一」と、それぞれ磨きをかけにぎわうことでしょう。

この催しは、ことし初めて開かれるものですが、養豚農家の研究と努力が披露されることになり、総合農政についてさげられていくところですが、今後の農政が畜産などに傾き、その拡大生産によって、ふえてゆく需要にこたえ農家経営の安定をはかっていくことが考えられます。

中々、鹿行地域の近ごろの畜産伸長は目をみはるものがあります。

最近の華やかな経営近代化の声に比べると豚を主とする家畜の改良は地味な先行投資のために、時々意欲を失いがちです。

なほ、出品される豚は第一部ヨークシャー種豚(十六頭)、第二部ランドレース種豚(二十二頭)、第三部母娘群ヨークシャーの各種豚(四組(十二頭))となっています。

また、出品される豚は第一部ヨークシャー種豚(十六頭)、第二部ランドレース種豚(二十二頭)、第三部母娘群ヨークシャーの各種豚(四組(十二頭))となっています。

野犬一掃月間

九月一日から

九月一日から三十日までの一カ月は、野犬の一掃運動月間となっています。

この運動は、厚生省が推進母体となっており、全国にわたって展開しているものですが、こんどの運動では、犬による人や家畜への被害を防ぐことや、狂犬病の予防などについて、全国にわたって呼びかけています。

運動の主な内容は①野犬の捕獲 ②不用犬の引取 ③犬の正しい飼育 ④犬の普及と愛護 ⑤犬の被害の防止 ⑥犬の飼育者の教育 ⑦犬の飼育者の意識の向上 ⑧犬の飼育者の団体の組織化 ⑨犬の飼育者の団体の活動 ⑩犬の飼育者の団体の普及 ⑪犬の飼育者の団体の教育 ⑫犬の飼育者の団体の啓蒙 ⑬犬の飼育者の団体の宣伝 ⑭犬の飼育者の団体の活動 ⑮犬の飼育者の団体の普及 ⑯犬の飼育者の団体の教育 ⑰犬の飼育者の団体の啓蒙 ⑱犬の飼育者の団体の宣伝 ⑲犬の飼育者の団体の活動 ⑳犬の飼育者の団体の普及 ㉑犬の飼育者の団体の教育 ㉒犬の飼育者の団体の啓蒙 ㉓犬の飼育者の団体の宣伝 ㉔犬の飼育者の団体の活動 ㉕犬の飼育者の団体の普及 ㉖犬の飼育者の団体の教育 ㉗犬の飼育者の団体の啓蒙 ㉘犬の飼育者の団体の宣伝 ㉙犬の飼育者の団体の活動 ㉚犬の飼育者の団体の普及 ㉛犬の飼育者の団体の教育 ㉜犬の飼育者の団体の啓蒙 ㉝犬の飼育者の団体の宣伝 ㉞犬の飼育者の団体の活動 ㉟犬の飼育者の団体の普及 ㊱犬の飼育者の団体の教育 ㊲犬の飼育者の団体の啓蒙 ㊳犬の飼育者の団体の宣伝 ㊴犬の飼育者の団体の活動 ㊵犬の飼育者の団体の普及 ㊶犬の飼育者の団体の教育 ㊷犬の飼育者の団体の啓蒙 ㊸犬の飼育者の団体の宣伝 ㊹犬の飼育者の団体の活動 ㊺犬の飼育者の団体の普及 ㊻犬の飼育者の団体の教育 ㊼犬の飼育者の団体の啓蒙 ㊽犬の飼育者の団体の宣伝 ㊾犬の飼育者の団体の活動 ㊿犬の飼育者の団体の普及

玉造町振興計画

基本構想のあらまし

明るく豊かな町の実現へ

計画策定の趣旨

振興計画は「明るく豊かな町民生活の実現」をはかるため、玉造町の発展の基本的な方向を示すものです。

町では、去る昭和三十四年度に「玉造町建設計画」をたて、建設的な諸事業をすすめてきました。その間、鹿島臨海工業地帯の造成、筑波研究学園都市の建設、高浜入干拓などの国家的な開発事業が近接地区ではじめられ、また、とりわけの小川町に航空自衛隊百里基地が設けられるなど、町をとりまく諸情勢は大きく変わってきました。

三本の柱で

施策の基本方針

計画をつくるにあたっては、町が、鹿島地区工業整備特別地域、高浜入干拓造成の関係地区であること、百里基地の隣接町であることなどの立場を考慮し、合理的、かつ積極的な開発をはかりながら町民みなさんの英知と人間愛を支え、発展のため、明るく豊かな郷土の建設を築きあげることを主眼としました。

そこで、この計画では、基本方針

① 明るく住みよい郷土の建設

町民の生活および生産の基盤を整備すため、農工の調和にたつた田園都市、緑の町の建設をはかります。

② 繁栄をもたらす産業の振興

農業振興の施策を主としながら、内陸工業の導入、観光の開発など町民所得の向上をはかります。

③ 知性と健康に満ちた町民の育成

町民のみなさんの知性と健康をため、教養豊かな文化的地域社会をつくりだします。

実効性ある計画に

この計画は、昭和四十五年度から昭和五十四年度までの十年間にわたる長期間のものですが、内容を期間別に、次のとおりわけました。

基本構想

人口二万人・第二次産業の飛躍的な増加

十年後の推定

計画の目標

▽人口：現在は、減少していますが、今後、交通条件の整備等により鹿島臨海工業地帯への通勤が可能な区域になること、内陸工業の進出などにより、流入超過となり人口増加が期待されます。現在は一万人四千数百人ですが、昭和五十四年度における人口を二万人と推定しました。

▽産業構造：第一次産業(農林水産業)他産業がすすむにつれて減少の傾向をたどりますが、町が農業を中心とすること、高浜入干拓が完成され、入植農家がみこ

るようになります。

＝＝＝＝＝＝保護に協力ください

ことしの鹿行地区種豚共進会は十一月八日、九日に玉造町で開かれます。

この会には、鹿島、行方面の養豚家が、日ごろ手おしおにかけて育てあげた種豚が、多数出陳され「おらが豚こそ鹿行一」と、それぞれ磨きをかけにぎわうことでしょう。

この催しは、ことし初めて開かれるものですが、養豚農家の研究と努力が披露されることになり、総合農政についてさげられていくところですが、今後の農政が畜産などに傾き、その拡大生産によって、ふえてゆく需要にこたえ農家経営の安定をはかっていくことが考えられます。

基本施策

① 明るく住みよい郷土の建設

◎土地の活用計画：農業と工業用地、市街地の調和した発展をもち、新規需要地を確保し、経済的条

件を考慮し、土地利用の効率を高

度で発揮できるよう計画をすすめます。

② 道路の整備

◎道路の整備：幅三メートル未満の主な町道について、幅三メートル以上に拡張、改良を加えるとともに、幅四

メートル以上の町道については、舗装をすすめます。県道については、全線の改良、舗装の促進をはかる

とともに、行方台地縦貫道路、霞ヶ浦湖畔観光道路の建設などを期

③ 住宅の建設

◎住宅の建設：約千四百戸の住宅需要の増加がみこまれるので、公営住宅二百戸、民間自力建設千

二百戸の建設を促進します。

◎生活関連施設の整備：市街地においては、全域の上水道、農業地帯においては、簡易水道の整備をはかります。下水道も人口分布、産業活動等を考慮し整備し、し尿処理、ごみ処理施設、火葬場等は広域的な施策によって、隣接町村と共同設置することになります。

④ 交通安全

◎交通安全：防災体制の確立、関係機関相互の連携ののち、交通安全教育の強化、交通安全諸施設の整備をはかります。救急業務、消防などについては、広域的な計画によりすすめていきます。

◎公害の防除：今後、開発がすすむにつれて、公害問題が深刻化するものと考えられますが、町においても常に、その実態を把握し、発生源の防除につとめます。なお企業の導入にあたっては、公害のともなわないものを選定します。

◎繁栄をもたらす産業の振興

近代化をすすめます

◎観光開発：霞ヶ浦など豊富な資源を活用し、健康的な観光施設を整備します。

⑥ 知性と健康に満ちた町民の育成

◎学校教育：学校規模の適正化、教育施設設備の整備充実をはかり、教育水準を高めることにつとめます。小学校は、昭和五十四年度における人口の配置などを考慮し、校舎の新増築、通学路の改正などを進めます。

⑦ 社会教育

◎社会教育：成人教育活動を活性化、図書館などの施設を整備します。

⑧ 文化の振興

◎文化の振興：文化活動を推進するとともに文化財保護対策をはかります。

⑨ 社会福祉の向上

◎社会福祉の向上：低所得者、老人、母子世帯、身心障害者等の実態を把握し、国、県の諸施策とあわせて地域住民の理解をたかめ、民間と一体となって福祉の向上につとめます。

⑩ 保健の充実

◎保健の充実：国、県の医療行政と歩調をあわせ、民間医療機関と協調して疾病を予防するなど、積極的に町民の健康増進につとめます。

第3日曜日は家庭の日

笑顔をつくる一家団らん

毎月第三日曜日は「家庭の日」です。この日は家の中ひとみんが都合をつけて、全部が顔をそろえ、みんなで話し合ったり食事を共にしましょう。また一家が、そろってできるやさしいゲームをしたり、ジャンケンポンで、テレビのチャネル権を持ったりしてはいいでしょうか。



家庭の日には、一家そろって話し合いお互いに理解し合ひましょう。

「家庭の日」は第三日曜日という特定の日にだけ行なえばよいという環境の中ではありません。最近の社会から、せめて月に一日くらいはそうした機会をもちたいという趣旨で、はじめられた運動です。それぞれ家庭の事情にあわせ、一日でも多く「家庭の日」をもつことが大切だと言います。商店など第三日曜日は月末の日曜日のために忙

町で三十一人が活動

交通違反監視員

みなさんは車の後部窓ガラスのところに「交通違反監視車」というプレートをつけた車を見たことありますか。これらの自動車は今年、麻生警察署から委嘱された三十一人の交通監視員が運転する車です。この監視員は自分自身が安全運転につとめることとはより、一般の運転者に無言の教訓と警告を

与えようとするものです。車で走行中に、もし無謀運転をした車を発見したときは、その時の状況を警察まで連絡することになっていきます。このように監視員と警察とが一体になって、正しいルールを実践しようとしています。このように制度は、多くなってゆく交通事故にみかね、一件でも発生をおさえようとする悲願から出たものであ

稲作に被害

低温 台風で二割減収

町に対策委員会発足



ことは、水を中心とした稲作で減収が心配されてきた矢先、台風九号の通過で稲が倒伏し、重なる被害に耕作農家は啞然としています。特に早稲の品種は収穫期にはいつにだけに回復のみは難しく、悲惨な状態となっていました。

町の水田では先月下旬から刈り取りが行なわれていたのですが、その表情は、いつもの秋に比べるとなんと暗いようでした。被害は町内全体的なもので、例年に比べ二割ぐらいの不作と見られていました。町でも八月二十九日議会協議会を開きその対策を協議しましたが

ることを理解し、お互いが事故防止に協力をお願いしたいと止まっています。これも昨年の四人の死亡に対して、それを大きく上回るものであります。

〇西谷老人クラブ(会長高野広さん)では、忠霊塔や玉川小学校の庭木の手入れなどをして部落の人たちに感謝されています。

いになりました。そのほか、この老人会では毎月行なうクラブの例会に、戦死者の霊と、もと会員だった人の霊の法要を、また、一年に一回戦死者の霊の供養などをしていきます。

〇一方、玉川遺族未亡人会も、会長の小倉まつさんをはじめとする九人のみなさんが、月に一回つづ忠霊塔の清掃を続けています。これらの善意に感謝しましょう。

事が対がん協会やその関係団体などと一緒に進んで行なわれます。▽講演と映画の会▽がんに関する無料健康相談▽ポスター、スライド等の製作▽がん征圧全国大会など

町でも、先月、がんの集団検診を行なっています。その趣旨などについては、良くおわかりのことと思います。ここで、このがん征圧運動にあたって再認識したいものです。

読書の秋

昔から、秋は「読書の秋」といって、読書をする季節といわれています。学生時代には、あんなに本を読んだのに、近ごろでは手にとることもなくなりました。といわれる方が多いのではないのでしょうか。夜の長いこの時に、ページをめくってみてはどうでしょう。初めから読むとせよ、写真やカットをなが

「がん」を正しく認識しよう

九月と十月はがん征圧月間運動がおこなわれる月です。この運動は、がんによる死亡者が年々ふえており、現在では、みんなの健康をおかす大きな原因となつていきます。そこで、がんに関する正しい知識をひろめ、あわせて、がんの早期発見と早期治療、適正治療を推進するために進められていきます。

みなさんすべてに、この運動を理解してもらうために、九月、十月の二ヶ月にわたって行なわれるこの運動期間中、次のような行



ぼくらの花が咲いた

浜・境の会 ゴミ捨て場のあとに花畑

浜の境こども会がゴミ捨て場のあとをきれいに造ったお花畑にいま、夏の花がきれいに咲き乱れています。このお花畑は、石岡一潮来線から浜の境へはいる旧道のとこにある三角地、もともとは浜の人たちのゴミ捨て場になっていたところ。ところが、すぐとなりの新道を車がたぐさ通るところなどから、美観をそこねることと、不衛生なゴミを追放しようとしたことが発端となつて、このようなきれいなお花畑になったのです。

〇西谷老人クラブ(会長高野広さん)では、忠霊塔や玉川小学校の庭木の手入れなどをして部落の人たちに感謝されています。

〇一方、玉川遺族未亡人会も、会長の小倉まつさんをはじめとする九人のみなさんが、月に一回つづ忠霊塔の清掃を続けています。これらの善意に感謝しましょう。

たのしかった夏休み

こども会活動からみる

楽しかった夏休みも終わり、二学期がはじまって十日が過ぎました。長いようで短かった四十日間の夏休み。今回は夏休みの中から、こども会のグループ活動などあわせてふりかえってみましょう。

こども会と後援会

「こどもは、みんなのこどもであり、そしてこどもは、みんなのこどもである」という考えのもと、こども会と後援会の活動は、学校と地域の連絡を保持しながら、こども会の活動を援助して行きます。こども会育成に努力しているお父さんやお母さんが、近頃はふえてきているようです。こどもたちが、楽しい遊びや行動を通して、育つるあたたかい心の結びつき、お互いに努力し、はげましあう心など、そこには、自主的な実践力と正しい判断力が家庭や学校で学べるということができない力や心を育てていくことが出来るのではないのでしょうか。このように、こども会活動の陰に後援会員の協力がみられます。

他校の友だちと

仲良しに

交歓会を通して

八月一日に玉川小学校のこども会幹部講習会では、鹿島郡神栖村のこども会代表六十名を迎えて交歓会を開きました。

おあさんたちと

一緒に映画をみる会

「親と子が一緒になって児童劇を見よう」と映画会も多く開かれました。映画は、必ずお母さんやお父さんなどと一緒に見ましょうという約束が、浴衣姿の親子が集まりマンガ映画や児童映画を楽しみました。

一泊で学習会

各地で幹部講習会

こども会の幹部講習会と宿泊学習を兼ねた集いが玉川、羽生、現原の各小学校で開かれました。普通だの学校生活とは全く違って野外でゲームをしたり合宿をしたりと楽しく勉強をしました。一方、後援会のお母さんやお父さんなどに食事の用意を手伝ってもらいな



玉川小学校で行なわれた交歓会の風景

けました。お互いにこども会の活動のようすを発表したり、質問し合ったりして勉強しあいました。普段は全然知らなかった学校のお友だちと仲良しになったことなど、収穫がいっぱいの交歓会でした。



花火大会

根古屋で開かれた花火大会は、七夕の夜でもあったため部族ぐるみで楽しみました。

新田こども会の善意

夏休みのこども会活動のひとつとして、廃品回収をやったところが多かったことと思います。

根古屋こども会が優勝

夏休み恒例の球技大会で玉川の根古屋こども会が優勝しました。この球技大会は、部会のこども会が集まって開かれたもので、男女混合でチームを編成し、炎天下の中に熱戦をくりひろげました。こんどの大会で優勝した根古屋こども会では、二年連続優勝を得て大よろこびです。その陰には、夏休みという自由な期間にもかかわらず、こどもたちが一致協力して自主的な練習の積み重ねが実を結んだといえましょう。

親と子が揃って遠足

海へ山へ遊園地へ

大ていのこども会では、夏休み中に海へ行ったり、遊園地へ行ったりして一日、楽しく遊んでくるところが多いと思います。こどもは学校で遠足、また親はPTAや部活等で旅行には出かけますが、

それぞれ出かける機会が別のことが多く、親と子がそろって出かけるといふことはあまり機会に恵まれないことが多いでしょう。夏休みに海で親と子が貝を取ったり、浜辺でゲームを楽しんだり、山や遊園地で乗りものなどにそろって乗ったりすることで、親子の愛情が深まることでしょう。

夏休み中に開いた交通安全教室

夏休みはこどもの交通事故が非常に多い時期です。そこで、交通安全からこどもをまもろうという声は夏休みにもかわらずさけられしてきました。

ハンドボール大会で

根古屋こども会が優勝しました。この球技大会は、部会のこども会が集まって開かれたもので、男女混合でチームを編成し、炎天下の中に熱戦をくりひろげました。こんどの大会で優勝した根古屋こども会では、二年連続優勝を得て大よろこびです。その陰には、夏休みという自由な期間にもかかわらず、こどもたちが一致協力して自主的な練習の積み重ねが実を結んだといえましょう。

商工会欄

新規青色申告者 記帳指導を実施

今年から、青色申告を行なう人に対し、その第二回目の記帳指導を八月二十七日に商工会で行ないました。

招待は、八月二十六日に、バス五台を用意して実施されました。このうちで最も人気を集めたのは、塩原レジャーセンターへの到着時間を当てるクイズでした。到着したところ正解者が多数いたため、ジャンケンによって賞品授与者を決める一幕もあり、楽しい一日でした。

商店街診断に一役

青年部

塩原温泉へご招待

中元大売出し

中元大売出しによる塩原温泉観光客の増加が、塩原温泉の活性化に貢献しています。

郵便番号簿の配布について

郵便番号簿は、この七月で早くも実施一周年を迎えました。みなさんのご協力によって郵便物への郵便番号記載率も順調に向上しており、関係者一同心から感謝しています。

郵便番号簿は、この七月で早くも実施一周年を迎えました。みなさんのご協力によって郵便物への郵便番号記載率も順調に向上しており、関係者一同心から感謝しています。

各戸に郵便受箱を

郵便の利用については日頃からご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

災害にそなえて

簡易 傷害保険(特約)を



出生と死亡

△7月▽

出生		死亡	
おめでとう	父	おめでとう	父
赤ちゃん	真佐夫	赤ちゃん	真佐夫
関文男	香子	関文男	香子
今泉誠一	勝次	今泉誠一	勝次
清水一司	宗次	清水一司	宗次
高沢さおり	勝久	高沢さおり	勝久
大湖貢	幸雄	大湖貢	幸雄
菅谷和枝	英二	菅谷和枝	英二
武内英明	長男	武内英明	長男
小沼友美	長女	小沼友美	長女
堀田久雄	誠一	堀田久雄	誠一
貝塚宏美	富雄	貝塚宏美	富雄
△おめでとう▽		△おめでとう▽	
関口すい	五六	関口すい	五六
飯島徳太郎	八五	飯島徳太郎	八五
須貝つね	八三	須貝つね	八三
大曾根倉次郎	六七	大曾根倉次郎	六七
弓削嘉衛門	九〇	弓削嘉衛門	九〇
坂島明夫	六二	坂島明夫	六二
赤塚正義	四五	赤塚正義	四五
関口すく	七〇	関口すく	七〇
岩本ふく	六二	岩本ふく	六二
谷田数丸	六四	谷田数丸	六四
川島誠	五〇	川島誠	五〇
大槻由之	八六	大槻由之	八六
森作	二三	森作	二三
(あ)		(あ)	
(と)		(と)	
(が)		(が)	
(き)		(き)	
谷井上荒柄	八六	谷井上荒柄	八六
井上宿貝	八六	井上宿貝	八六
島上宿貝	八六	島上宿貝	八六
谷井上荒柄	八六	谷井上荒柄	八六
井上宿貝	八六	井上宿貝	八六
島上宿貝	八六	島上宿貝	八六

郵便番号簿は、この七月で早くも実施一周年を迎えました。みなさんのご協力によって郵便物への郵便番号記載率も順調に向上しており、関係者一同心から感謝しています。

災害にそなえて

簡易 傷害保険(特約)を



危険がいっぱいの現代のそなえとして「傷害特約付簡易保険」を

その上、九月は台風季節です。被害が出ないことを祈りますが、被害が出た場合は、このようにお互いに助け合ってください。